



キンギョハナダイ♂

- 1Pseudanthias squamipinnis
- 2西部太平洋～インド洋
- 312cm

オスは赤紫色を帯びた美しい婚姻色になります。背鰭の一部にアンテナのように伸びた部分があり、体はメスよりも大きくなります。





ヒメアイゴ

- 1Siganus virgatus
- 2太平洋～インド洋
- 325cm

くりっとした目とおちよぼ口がかわいいアイゴの仲間です。主に海藻類を食べます。





キイロハギ

- 1Zebrasoma flavescens
- 2西部太平洋～インド洋
- 320cm

鮮やかな黄色の体色が美しく、ハギの中でもナンヨウハギと並んで人気があります。





ヤマブキベラ

- 1Thalassoma lutescens
- 2インド洋～西部太平洋
- 325cm

群れの中でメスがオスに性転換します。体色は性別、老幼によって変化するので、育てながら見た目の変化を楽しめます。





ツバメウオ

- 1Platax teira
- 2インド洋～西部太平洋
- 370cm

泳ぐ時にヒレを長く伸ばす姿がツバメに似ているため、ツバメウオという名前が付けられています。





サラサハゼ

- 1Amblygobius phalaena
- 2西部太平洋～中部太平洋
- 315cm

口から砂をもぐもぐ含んで有機物を捕食するベントス食性のハゼの仲間です。濃淡のある褐色の帯と黒色の帯が交差する渋い模様が「更紗模様」に見えることから、サラサハゼと名付けられました。





ニセネッタイスズメダイ

- 1Pomacentrus amboinensis Bleeker
- 2中・西部太平洋
- 39cm

ニセがついているということは、本物(?)のネッタイスズメダイがいます。小さな黒い斑点があるのが、ニセネッタイスズメダイです。





キンギョハナダイ♀

- 1Pseudanthias squamipinnis
- 2西部太平洋～インド洋
- 312cm

一匹のオスと複数のメスによる群れで暮らします。オスがいなくなると一匹のメスが性転換してオスになります。





サザナミトサカハギ

- 1Naso vlamingii
- 2西部太平洋～インド洋
- 370cm

求愛行動時のオスは、瞬時に鮮やかな体色に変化します。成長とともに舌が青黒くなります。





**オビブダイ♂
オビブダイ♀**

- 1Scarus schlegeli
- 2中・西部太平洋～東インド洋
- 335cm

体の中央に背中からお腹にかけて水色の帯が入り、背中には黄色い部分があるのが特徴です。オスとメスでは色が異なり、体色はいろいろと変化することもできます。





サンゴアイゴ

- 1Siganus corallinus
- 2小笠原・琉球列島以南の西部太平洋～インド洋
- 325cm

浅瀬のサンゴ礁域に住む、美しい黄色の魚ですが、背ビレ・腹ビレ・尻ビレの各棘に毒腺があります。刺されるととても痛いです。





ヒフキアイゴ

- 1Siganus unimaculatus
- 2西太平洋～オーストラリア北西岸
- 320cm

火を噴いているような顔から「ヒフキ」と名付けられました。海外ではフォックスフェイス（キツネ顔）と呼ばれています。





カクレクマノミ

- 1Amphiprion ocellaris
- 2西部太平洋～インド洋
- 311cm

映画のキャラクターで大人気の魚です。フッキングと呼ばれる体を上下にクネクネする泳ぎ方が可愛らしいです。





デバスズメダイ

- 1Chromis viridis
- 2西部太平洋～インド洋
- 38cm

青緑がかった光沢があり、群れで泳ぐ姿が綺麗な魚です。群れにオスが少なくメスの大きな個体が性転換してオスになります。





アカネハナゴイ

- 1Pseudanthias dispar
- 2沖縄以南の中・西部太平洋～東インド洋
- 310cm

黄色の体色と赤い背びれの組み合わせが美しい、ハナダイの一種です。





ミツボシクロスズメダイ

- 1Dascyllus trimaculatus
- 2西部太平洋～インド洋
- 310cm

幼魚期には、黒い体に3つの白い点があるのが特徴です。白い点は、成魚になるとだんだん消えてしまいます。



海水魚

- 1 …… 学名
- 2 …… 分布
- 3 …… 最大全長

HANA・BIYORI

では、外洋からサンゴ礁に駆け上がる海底丘陵を再現し、沖縄の海を彩る華やかな海水魚が泳ぐ長さ8mの海水水槽と、地殻変動により隆起した岩組みを表現し、緑鮮やかな水草が広がる3mの水槽を設置。

カクレクマノミ、チョウチョウウオ、キンギョハナダイなど約50種1,200匹の魚たちがご覧いただけます。



ナンヨウハギ

- 1Paracanthurus hepatus
- 2中・西部太平洋～インド洋
- 330cm

小さく鋭い歯を持ち、藻を上手に食べることができます。サンゴ礁に生える余分な藻を食べてくれます。





ルリスズメダイ

- 1Chrysiptera cyanea
- 2紀伊半島以南の西部太平洋～インド洋
- 38cm

鮮やかなコバルトブルーがとても美しいスズメダイですが、見た目とは裏腹にテリトリー意識が強く気の強い魚です。





シモフリアイゴ

- 1Siganus canaliculatus var.
- 2琉球列島・西部太平洋
- 330cm

以前は「シモフリアイゴ」という名で知られていましたが、遺伝子学的には「アイゴ」となります。環境の変化や刺激により体色の変化が見られます。





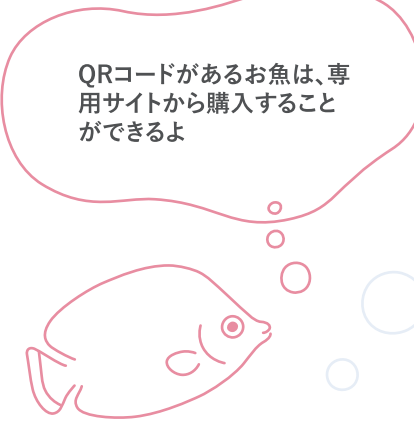
ホンソメワケベラ

- 1Labroides dimidiatus
- 2西部太平洋～インド洋
- 38cm

とがった口先で、他の魚の体表や口の中についている寄生虫やゴミ、粘膜、粘液を食べることで、海の掃除屋と呼ばれています。



淡水魚



QRコードがあるお魚は、専用サイトから購入することができますよ



プレミアムグリーンモス

- 1Riccardia chamedryfolia
- 2日本、東南アジア
- 3葉長2mm～5mm

スジゴケ科の植物で、ゴウゴウとしたやや固めの独特な形状をした葉が特徴です。いくつもの葉を組み合わせ形成され、岩や流木などに活着して育ちます。ライトグリーンの新芽を一齐に芽吹くことで、美しさをより一層感じることができます。



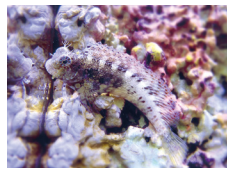


フウライチョウチョウウオ

- 1Chaetodon vagabundus
- 2南日本以南の中・西部太平洋～インド洋
- 325cm

トゲチョウチョウウオの群れに混ざっていることがあります。気が強く、たいていは単独かペアでいます。





ヤエヤマギンポ

- 1Salarias fasciatus
- 2西部太平洋～インド洋
- 315cm

海水水槽のコケ取りとして有名な種類で、日本では八重山諸島でよく見られることが名前の由来です。



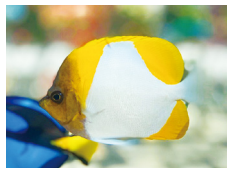


ヒレナガハギ

- 1Zebrasoma veliferum
- 2西部太平洋～インド洋
- 325cm

成魚になるとヒレを閉じて泳ぎます。ヒレを開いた時は、他の魚に威嚇している時や驚いた時です。





カスミチョウチョウウオ

- 1Hemitaenrichthys polylepis
- 2インド洋～太平洋
- 318cm

水中が霞んで見えなくなるほどの大きな群れを作ることから、「カスミ」という名前が付けられました。





オトシンネグロ

- 1Hisonotus leucofrenatus
- 2ブラジル、アルゼンチン
- 34cm

オトシンクルスと比べて環境適応能力が高く、水槽の中でも繁殖しやすいと言われています。体は砂地色で、オトシンクルスに比べややスレンダーな体型が特徴的です。もちろんコケもよく食べます！





サザエイシマキガイ

- 1Clithon sp.
- 2日本 南西諸島以南の沿岸域
- 32.5cm

まるでサザエのように貝殻にトゲがあり見た目がユニークですが、コケ取りの能力は非常に高く、石についた頑固な硬いコケをもぐもぐと食べてくれます。産卵行動は汽水域(淡水と海水が混じりあった少しの塩分を含む水)で行います。





カージナルテトラ

- 1Paracheirodon axelrodi
- 2ブラジル～コロンビア
- 34cm

レッドラインとメタリックブルーの色合いが美しく、同じカラシンの仲間で色彩が近いネオンテトラに比べると、レッドラインがより長く華やかがあります。数多く泳がせることで群れになって泳ぐ姿も楽しむことができ、水草レイアウト水槽の定番種として人気です。



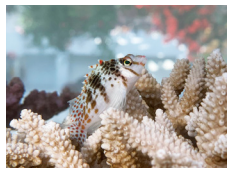


チョウチョウウオ

- 1Chaetodon auripes
- 2台湾沿岸・東インド諸島・西部太平洋～インド洋
- 320cm

幼体の時は頭周辺の骨が板状に発達し、まるで鎧兜を着けているように見えます。



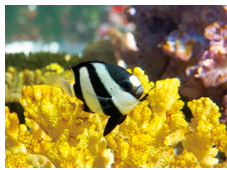


サラサゴンベ

- 1Cirrhitichthys falco
- 2西部太平洋～インド洋
- 37cm

かわいい縞模様とカラフルな色彩でゴンベ科としては人気があり、岩の上にちょこんと乗る姿はとても愛らしいです。





ミスジリュウキュウスズメダイ

- 1Dascyllus aruanus
- 2紀伊半島以南の中・西部太平洋
- 38cm

名前の通り、沖縄にも生息しており、体にはミスジ(三本の黒い線)があります。





トゲチョウチョウウオ

- 1Chaetodon auriga
- 2沖縄近海
- 320cm

ポピュラーなチョウチョウウオで、成長すると背ビレの軟条がトゲのように長く伸びていきます。





ミナミヌマエビ

- 1Neocardina denticulata
- 2西日本、中国、台湾、朝鮮半島
- 33cm

水草についたコケを繊細な手足でチマチマと食べてくれる人気のお掃除屋さんで、繁殖しやすく子エビの誕生が期待できます。ナチュラルな砂地色をしていますが、個体によっては赤・青・黒・白の色味が強いものもいます。





キューバ・パールグラス

- 1Hemianthus callitrichoides
- 2北米
- 3葉幅3mm

環境や水質が合うと、茎は横へ横へと広がりと増えて行き、まるで緑の草原のように展開します。ゴマノハグサ科の水草で、萌黄色の美しい小さな丸目の葉っぱが特徴です。光を浴びると葉の表面に空気の玉「気泡」を膨らませます。





オトシンクルス

- 1Otocinclus sp.
- 2ペルー、ブラジル、コロンビア
- 35cm

おとなしい性格で、水草についたコケをもぐもぐとよく食べてくれる草食性のナマズの仲間で、優秀なお掃除屋さんとして人気者です。吸盤のような口で一生懸命にコケを食べる姿がとてもかわいらしいです。





ハタタテダイ

- 1Heniochus acuminatus
- 2東インド諸島・インド洋～太平洋
- 325cm

白い旗を立てているように見えることから、「ハタタテ」と名付けられました。寒さに強く、日本では青森県まで生息すると言われています。





チョウハン

- 1Chaetodon lunula
- 2インド洋～中・西部太平洋
- 325cm

普段は単独や小さな群れで生活していて、主に夜間に活動します。目の周りに黒い帯があり、アライグマのような顔をしています。

